

### 3 開催決定までの経緯と推進体制

#### (1) 誘致から決定まで

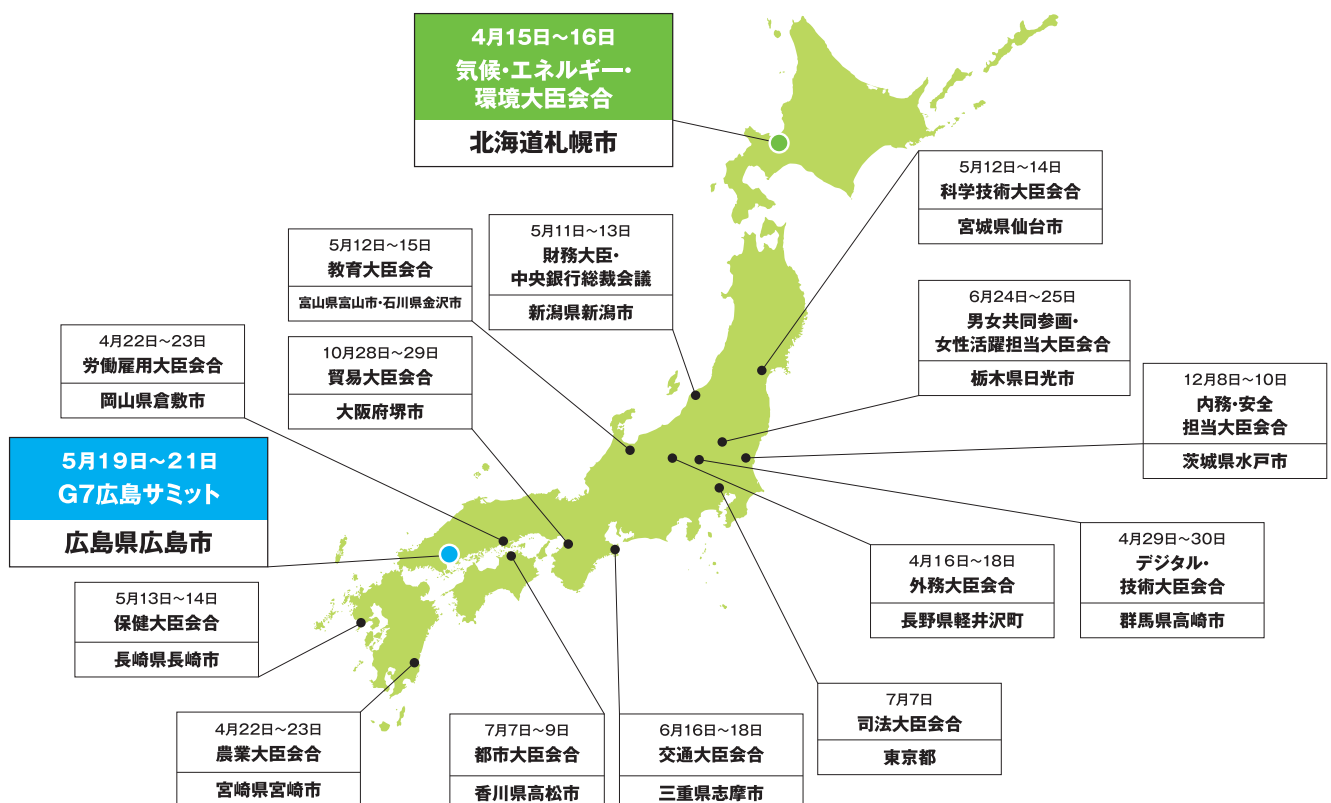
札幌市は、平成22年(2010年)の日本APEC貿易担当大臣会合をはじめとする政府系国際会議や、各分野の著名人が参加する数々の国際学会を開催してきた。

平成30年(2018年)の北海道への行幸啓の際には、天皇皇后両陛下に市内のホテルにご宿泊いただいているほか、東京2020大会マラソン競技や競歩競技など、入念な計画と万全な警備体制が必要となる要人やプレスを受入実績を多数有している。

こうした中、令和5年(2023年)に日本で開催予定の主要国首脳会議(G7サミット)は、世界の重要課題について意見交換する場であり、世界中から注目が集まることから、改めて北海道・札幌の魅力の世界に向けて発信する絶好の機会と捉え、北海道や関係団体と調整を進め、令和3年(2021年)12月20日にG7関係閣僚会合の開催地として立候補することを表明し、同年12月27日に誘致計画案を政府に提出した。

その後、札幌市、札幌商工会議所の2者連名による「2023年主要国首脳会議(G7サミット)関係閣僚会合の誘致に関する要望書」を令和4年(2022年)1月に官房長官、外務大臣、環境大臣に提出するなど、積極的に誘致活動を展開した。

その結果、同年9月16日に政府からG7気候・エネルギー・環境大臣会合を札幌で開催することが発表された。また、大臣会合の開催日程について、同年10月21日に経済産業省・環境省から令和5年(2023年)4月15日、16日に札幌プリンスホテルで開催することが発表された。



## (2) 推進体制

大臣会合の成功に向けて官民一体となった受入体制を確立し、支援・協力を行うとともに、関連する事業を通じ、札幌市・北海道の活性化に資することを目的に、札幌市、北海道、経済界や観光業界などの関連団体、国際会議や今回のテーマとなる環境やエネルギーへの知見を有する団体など22団体で構成する「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合実行委員会」(会長：札幌市長、副会長：北海道商工会議所連合会・札幌商工会議所会頭)を令和4年(2022年)12月1日に設立した。

実行委員会には、委員、監事のほか、顧問(北海道知事)、参与(北海道議会議長、札幌市議会議長、北海道大学総長)を置き、様々な視点からご意見やご助言をいただくこととした。また、実行委員会の事業に関して必要な事項の協議を行い、実行委員会の円滑な運営に資するため、幹事会を設置し、札幌市経済観光局観光・MICE担当局長を幹事長とした。

### ■G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合実行委員会構成員

#### 【委員】

所属・職名	備考
札幌市長	会長
北海道商工会議所連合会・札幌商工会議所会頭	副会長
札幌市副市長	
北海道副知事	
北海道経済連合会会長	
北海道経済同友会代表幹事	
ゼロカーボン北海道推進協議会座長	
札幌国際プラザ理事長	
札幌エネルギー供給公社代表取締役	
北海道熱供給公社代表取締役	
北海道観光振興機構会長	
札幌観光協会会長	
札幌市内ホテル連絡協議会代表幹事	
北海道エアポート株式会社代表取締役社長	
北海道旅客鉄道株式会社代表取締役会長	
札幌駅前通まちづくり株式会社代表取締役社長	
札幌大通まちづくり株式会社代表取締役社長	
株式会社札幌都市開発公社代表取締役社長	

## 【顧問】

所属・職名	備考
北海道知事	

## 【監事】

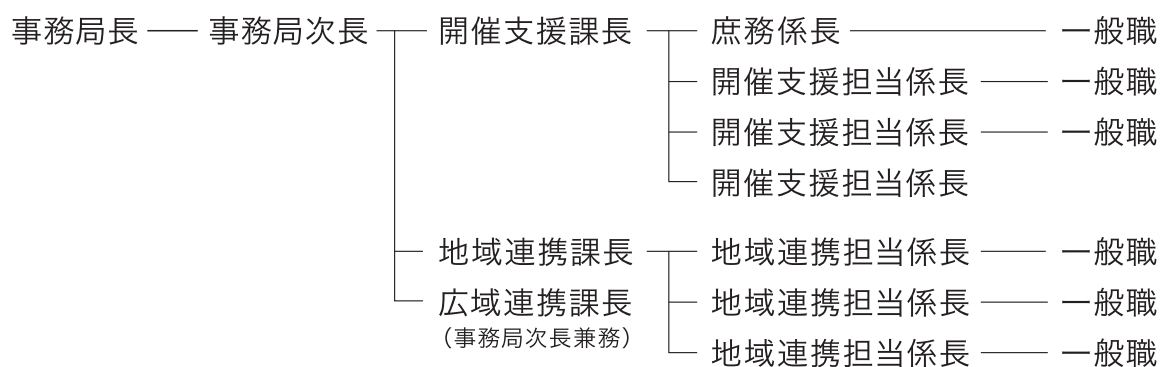
所属・職名	備考
北洋銀行公務金融部執行役員部長	
北海道銀行地域創生部部長	

## 【参与】

所属・職名	備考
北海道議会議長	
札幌市議会議長	
北海道大学総長	

実行委員会の事務局については、札幌市経済観光局観光・MICE推進部に設置し、市職員12名、道職員5名の計17名が事務局職員となって、開催に向けた準備をスタートした。

## ■事務局体制(令和4年(2022年)12月1日現在)



## (3) 事業計画

令和4年(2022年)12月19日に開催した実行委員会総会において、実行委員会事業として①開催支援、②機運醸成、③おもてなし、④地域PRの4つの柱に沿った事業を実施することとした。

## ■実行委員会事業計画

区分	内容	主な事業
開催支援	会合開催に係る受入体制を整備するとともに、会合の円滑な開催を支援する	(1)受入体制の整備 警備・消防救急・医療体制等に関する関係機関との連携など (2)会合開催の支援 関係省庁や各国大使館等の視察対応、リエゾンの調整など
機運醸成	会合の開催を幅広く道民・市民に周知して開催機運を醸成する	(1)広報事業 ホームページ制作・運用、ポスター・横断幕等の告知物作成、カウントダウンモニュメントの設置など (2)意識啓発事業 道内複数個所でのシンポジウム開催、小学生による「こども環境宣言」の発表、179市町村が参加するリレーメッセージ動画の放映など (3)記念イベント 会合の期間中に札幌ドームで環境技術のデモンストレーションやゼロカーボン北海道の取組を発信する環境イベントを開催
おもてなし	会合に参加する各国政府関係者等を歓迎する	(1)歓迎行事 空港での歓迎セレモニーの実施、道産食材等の提供や北海道を代表するアトラクションの実演などで歓迎するレセプションの開催など (2)歓迎装飾 空港・駅・市内中心部などにおける歓迎フラッグ等の設置、シティドレッシングの実施など
地域PR	各国政府関係者、報道関係者等に北海道・札幌市の魅力を発信する	(1)展示 プレスセンターなどで、北海道・札幌市における環境の取組や、食・観光などの魅力を発信するパネル展示を実施 (2)エクスカージョン・プレスツアー 環境配慮型施設や再生可能エネルギー関連施設のほか、ウポポイなどの文化・観光施設等を巡るツアーなどを実施

**事業費(予算額)**

項目	予算額(単位:千円)	備考
北海道負担金	35,000	
札幌市負担金	35,000	
その他(寄付金等)	30,000	寄付・協賛金、出展料等
合計	100,000	



実行委員会総会 (令和4年(2022年)12月19日)